

雜 報

會 員 動 靜

九級俸下賜	衛生技師 門 田 正 徳 (六月三十日)	陸軍二等軍醫正 白 形 昌 業
	海軍軍醫大尉 黒 木 武 一	補熊本衛戍病院附
補龜川海軍病院部員	(七月三十一日)	陸軍軍醫學校教官 平 野 林 陸軍三等軍醫正
	岡山醫科大學助教授 中 川 小 四 郎	免本職補野砲兵第一聯隊附
陞叙高等官四等		深山重砲兵聯隊附 大 河 原 柳 司 陸軍三等軍醫
	岡山醫科大學助教授 戸 田 茂	免本職補野砲兵第四聯隊附
陞叙高等官六等	(八月三日)	工兵第十八大隊附 田 村 權 五 郎 陸軍一等軍醫
(各通)	陸軍三等軍醫正 片 山 雄 正六位勳四等 陸軍三等軍醫正 白 形 昌 業 正六位勳四等	免本職補騎兵第十二聯隊附
任陸軍二等軍醫正		步兵第十一聯隊附 森 定 惠 陸軍二等軍醫
(各通)	陸軍一等軍醫從六位勳六等 野 上 尙 志 陸軍一等軍醫從六位勳五等 長 田 祖 村	免本職補旭川衛戍病院附 (八月七日)
任陸軍三等軍正		叙正五位 正六位勳四等 重 富 貫 二 陸軍二等軍醫正 重 富 貫 二 正六位勳四等
	陸軍二等軍醫從七位勳二等 田 村 權 五 郎	特旨ヲ以テ位一級被進 (六月二十四日)
任陸軍一等軍醫		鎮海要港部軍醫長兼 村 上 敬 二 病院長海軍軍醫大佐
	陸軍三等軍醫正八位 栗 本 博 雄	免本職並兼職補橫須賀海軍工廠醫務部長
	陸軍三等軍醫正八位 久 保 田 正 治	震ヶ浦海軍航空隊軍 若 月 館 一 醫長海軍軍醫中佐
任陸軍二等軍醫		免本職補大湊要港部軍醫長兼病院長 (八月十日)
	陸軍三等軍醫正 野 上 尙 志	(各通) 從六位勳五等 守 山 貞 一 從六位勳六等 大 塚 文 雄
補臺灣歩兵第二聯隊附		叙正六位
	陸軍三等軍醫正 長 田 祖 村	(各通) 陸軍三等軍醫正 守 山 貞 一 從六位勳五等 大 塚 文 雄 陸軍三等軍醫正 從六位勳六等
補羅南衛戍病院附		特旨ヲ以テ位一級被進 (六月二十四日)

○高木常雄君 は豫て本縣兒島郡興除村に於て開業し居られしか今回兵庫縣飾磨町福島紡績會社工場警局に勤務せられたり

○太田弘毅君 は大正十一年岡山醫科大學附屬醫學專門部を卒業し九州帝國大學醫學部整形外科教室等に勤務し居られしか今般辭職し神戸市御藏通五丁目に於て開業せられたり

○横山敏暢君 は先般海軍共濟病院吳病院を辭し廣島市藥研堀に於て開業せられたり

○安本和夫君 は今回兵庫縣飾磨町福島紡績警局を辭し神戸市二葉町四丁目に於て開業せられたり

- 吉 柄 生 一 君 は豫て岡山醫科大學生理學教室に於て研究し居られしか今般兵庫縣赤穂郡赤穂町に於て開業せられたり
- 新 藤 輝 雄 君 は豫て大阪同生病院に勤務し居られしか今般同院を辭し大阪市港區南境川町四丁目に於て開業せられたり
- 山 本 尙 義 君 は大正七年七月以來日本赤十字社病院に勤務し昨年八月より同社和歌山支部病院に轉勤し居られしか今同院を辭し和歌山市外高松に於て開業せられたり
- 林 隼 人 君 は豫て滿鐵瓦房店醫院に勤務し居られしか今回辭職福岡縣宗像郡津屋崎町に於て開業せられたり
- 風呂野澤一君 は今般廣島縣安佐郡安村に移轉せられたり
- 土 手 恭 藏 君 は今回京都府加佐郡舞鶴町字寺内に移轉せられたり